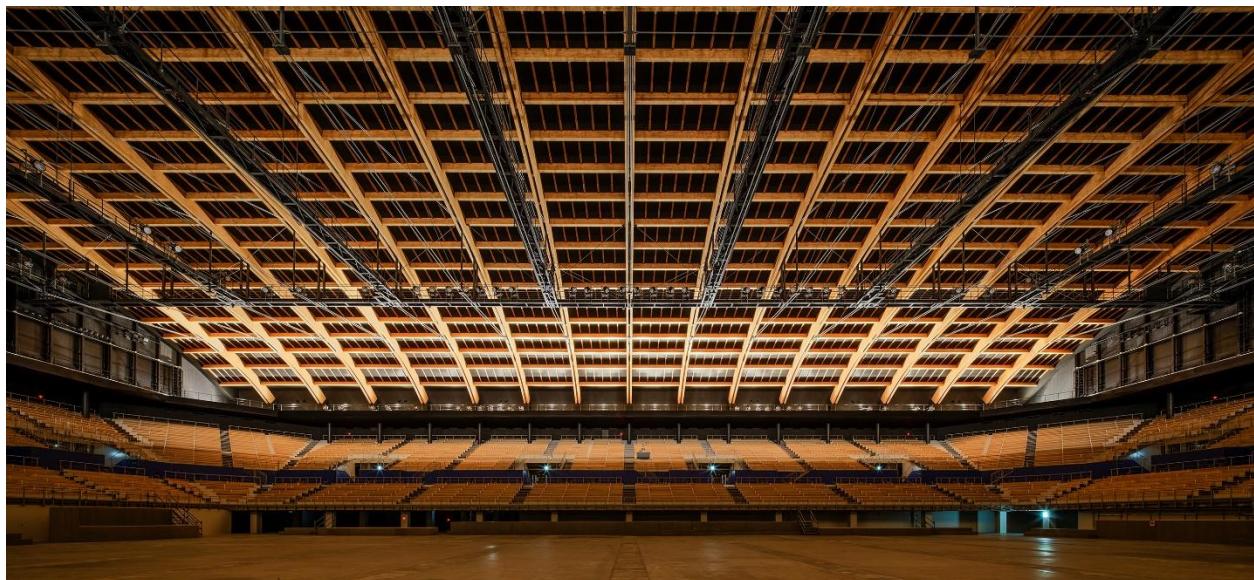


最優秀賞（農林水産大臣賞）



有明体操競技場

株式会社日建設計（東京都）、清水建設株式会社（東京都）、

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（東京都）ソーシャルデザイン部門

建築・空間分野

国際規模のスポーツ競技大会施設。日本の伝統的な木造建築の美しさを醸しつつ、多くの観客を迎え入れる競技場としての機能性を併せ持つ、世界に発信すべき建築であり、最優秀賞にふさわしい作品として高く評価した。競技エリア天井の木架構の現しなど、「質素で潔い建築」が見る者を圧倒する。日本各地から木材を調達し、カラマツの大屋根、スギの外装や観客席などで木材を約2,300㎡使用している。日本の「木を使い、木と親しむ文化」の海外への発信を担うにふさわしい作品と考える。

優秀賞（林野庁長官賞）

● ライフスタイルデザイン部門



CLT PARK HARUMI

三菱地所株式会社（東京都）、株式会社三菱地所設計（東京都）、株式会社隈研吾建築都市設計事務所（東京都）

建築・空間分野

CLTのショーケースとして、子どもや来場者が木に触れその魅力を感じることができる空間。多様な工法による多様な空間、端材を使ったテーブルやスツールなど、随所に木を感じられる仕掛けを施している。地域材を活用し、都心で使用した後、解体移築しまた里帰りさせるという木造建築ならではの都市と地方を結ぶ循環型経済モデルとしても独創的な取組。



Continuum

株式会社 九銘協（福岡県）

建材・部材分野

斜めに継ぎ合わせた連続性のある木の意匠が、独特の緊張感を生み出し、店舗の顔となるカウンターで使えばインパクトがあるだろう。インテリアの木質化デザインでは新規性が光るアイデアが少ないなか、店舗設計の視点から見ても刺激をもらえるような斬新さが本作品にはある。吉野松のアピールの面でも付加価値をもたらしている。



木硯

YOAKE（福岡県）、TAWARA（福岡県）

木製品分野

手書き文化の復権と素材としての木の活用を融合させ、日本の文化を再認識させるという意欲的な作品で、硯の質感がとてもよい。材料であるエンジュの一木を半割にしているため、蓋を閉めるとひとつの木の塊に見え、オブジェのような存在にもなる。伝統的な文具の世界での木材利用という点で、その独創性を評価した。

優秀賞（林野庁長官賞）

●ハートフルデザイン部門



奈良県コンベンションセンター

奈良県(奈良県)、PFI奈良賑わいと交流拠点株式会社(奈良県)、株式会社大林組 大阪本店一級建築士事務所(大阪府)、株式会社梓設計(東京都)、株式会社大林組(東京都)

建築・空間分野

吉野杉集成材と鉄骨のハイブリッド架構の大屋根広場のスケールの大きさと意匠が印象的な施設で、地域材の多様な活用方法を見せてくれる魅力的な空間である。構造材、内外装材のみならず、スギ皮和紙や鮎くずを貼ったガラススクリーンなど、アート性に富んだ多彩な表情が面白い。地域の交流拠点として、万葉集に代表される天平文化の高貴さの表現と木の質感や表情がうまく融合している。

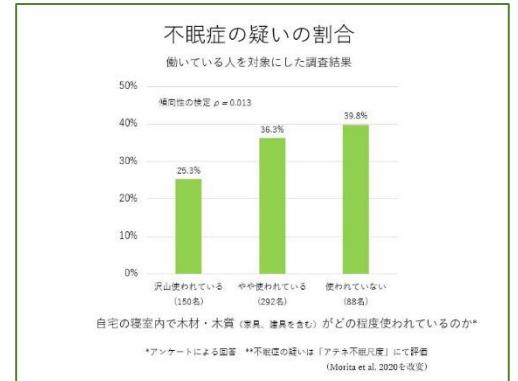


八ヶ岳カラマツチェンバロ・プロジェクト

株式会社八ヶ岳高原ロッジ(長野県)、久保田チェンバロ工房(埼玉県)、双葉林業合資会社(長野県)、株式会社そごう・西武(東京都)

コミュニケーション分野

1960年代前半、この地に33万本のカラマツを植えることから始まり、50年余の時を経て日本最大級の高原リゾートとなった八ヶ岳で、自然、森林、芸術が織りなす新たな取組として評価した。国内屈指の木造コンサートホールで奏でられるチェンバロは、木目を大切にしたい美しいデザインが特徴的である。場所・空間・道具が一体となった感性に訴える魅力的なプロジェクトである。



寝室に木材系内装や家具が多いと働く人の不眠症の疑いが少ないことを実証： 筑波大学睡眠疫学プロジェクト

国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所(茨城県)、筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構(茨城県)/筑波大学医学医療系産業精神医学・宇宙医学グループ(茨城県)、帝京大学(東京都)

技術・研究分野

木材利用と健康の関連性を科学的に実証した社会有用性の高い研究である。そのために、睡眠のメカニズム、睡眠と心身の関係、木材の健康効果の3つが揃うことが必要であり、本作品はそれに取り組んだ貴重なものである。エビデンスが整うことで、寝室の家具や内装材に木材を使うことの必然性がさらに加速されることを期待したい。

●ソーシャルデザイン部門



FLATS WOODS 木場

株式会社竹中工務店(東京都)、齋藤木材工業株式会社(長野県)、株式会社サイプレス・スナダヤ(愛媛県)、三井物産フォレスト株式会社(東京都)、山佐木材株式会社(鹿児島県)、株式会社山長商店(和歌山県)

建築・空間分野

新たに開発された木造部材の採用により、簡易かつ汎用性ある接合や施工方法を確立した社会提案性の高い、チャレンジングな取組である。12階の共用部には各技術や部材をモチーフとした家具が配され、利用者が直接、木の温もりや香りを感じることができる。都市の景観に柔らかさを与えつつ、森林資源と経済の循環を目指す先導的モデルである点を高く評価した。



西脇市立西脇小学校保存・改修に伴う基本計画および工事

西脇市(兵庫県)、西脇小学校保存改修に伴う基本計画・設計組織(兵庫県)、株式会社内藤設計(大阪府)、株式会社吉住工務店(兵庫県)

建築・空間分野

既存木造校舎の改修にあたり、耐震、耐火やバリアフリー化、温熱環境への配慮などの対策を実施し、木造建築の価値を再認識させる契機を生んだ。ワークショップやアンケート調査、市民へのプレゼンテーションを通じ、改修の理解醸成を図った点は重要だ。コストも建て替えよりも安価で済んでおり、地域の記憶を留める木造校舎が次の世代にも引き継がれ、新たな木材利用の扉を拓くことを期待する。



1964東京オリンピックゆかりの木プロジェクト

公益財団法人日本オリンピック委員会(東京都)、北海道(北海道)、遠軽町(北海道)、北海道家庭学校(北海道)、乃村工藝社・電通・電通ライブコンソーシアム(東京都)

コミュニケーション分野

ミュージアムの天井にはゆかりの木の木製ルーバーが設置され温かく美しい空間が来場者をもてなす。これは日本に一台しかない節あり突板を製作できる北海道内の事業者と連携による。ウェルカムウォールの五輪オブジェはミュージアムのある地元小学生のワークショップから生まれた。年月を可視化してくれる森と木が、オリンピック・レガシーを次の世代にまた引き継いでくれるだろう。

奨励賞（審査委員長賞）

●ライフスタイルデザイン部門



椿茶屋

石飛亮建築設計事務所（神奈川県）、五島自動車株式会社（長崎県）、株式会社松岡建設（長崎県）、草草社（長崎県）

建築・空間分野

風景との親和性を保ちつつ、古材を再利用した囲炉裏テーブルなどがある内部は懐かしさも感じさせる。ここで味わう地元食材も合わせ、地域の魅力を堪能できるだろう。



東馬込の家

株式会社松井郁夫建築設計事務所（東京都）、有限会社キューブワン・ハウジング（東京都）

建築・空間分野

日本の伝統構法を新たな解釈で現代の暮らしにつなぐ、シンプルで良質な家づくりがよい。伝統的な技を活かしたパッシブエネルギーを活用する家は温熱環境面でも高い性能を確保する。



蔵の家

川上聡建築設計事務所（京都府）、フジタケイ建築設計事務所（大阪府）、関西木材工業株式会社（大阪府）、株式会社林工務店（京都府）

建築・空間分野

既存の酒蔵や土蔵といった閉鎖的な空間を、木を巧みに使って既存家屋になじむ改修を施し、使い勝手や快適性の向上に寄与している。京町家を保存しながら現代の暮らしにマッチさせる工夫がある。



北海道産エゾマツ材サイレントウクレレ "elevocco"

株式会社クワイアン（北海道）

木製品分野

音響特性に優れたエゾマツを利用することで振動を使って奏でる点に特徴がある。細身で軽い本作品は可搬性や収納性に優れるだけでなく、幹が細い材の有効活用にもつながっている。



QRwood

ハッチ・クリエイティブ・ワークス株式会社（大阪府）

木製品分野

木材にバーコードを彫り込むという独創性を評価した。木質感のある立体的な意匠は人々の興味を引き、ついアクセスしたくなるインパクトを持つ。デジタルネットワークへの入り口を木質化するというユニークな発想がよい。

●ハートフルデザイン部門



Sou

atelier thu（兵庫県）、株式会社山本安工務店（大阪府）

建築・空間分野

傾斜する敷地に沿って床レベルに高低差をつけることで建物の高さを抑えることに成功している個人住宅。風が通り抜ける心地よい木質の空間は外部の地形とつながっているようである。



富士屋ホテル RE-BORN

株式会社乃村工藝社（東京都）、株式会社エフラポ（石川県）

建築・空間分野

明治初期の建設以来、140年を超える歴史を持つホテルの大改修にあたって良質な材で制作された家具を補修、再設置した。木の持つ時間的な価値や魅力を宿泊客に感じさせてくれる取組と言える。



森をまとう 六甲の糸・ファブリック& 六甲山の香り・ファブリックミスト

六甲山サイレンスリゾート（兵庫県）、縁樹の糸（大阪府）

木製品分野

スカーフは繊維原料として六甲山産スギを使用しており、アロマミストは原料に六甲山産スギや国産ヒノキ、ヒバ等のエッセンスを使用している。自然と一体化したリゾートにふさわしい、新しい形の木に触れ、感じるプロダクト。

奨励賞（審査委員長賞）

●ハートフルデザイン部門



木製ブロック ズレंगा
株式会社浅尾（滋賀県）

木製品分野

2種類のパーツからなるレンガのような大きさのブロックで、3歳児から遊べ、4、5歳児ともなると子供たちだけで実際に入れる家が組立てられる。全ての面で連結可能なので動物やロボットなどの複雑な形状物でも直感的・巨大に組み立てられる。



『HITA SUGI しめ縄』
有限会社高村木材（大分県）

コミュニケーション分野

地元林業家と協働して、地元の木を使いながらオリジナルでつくるプロセスは、クリエイティブな行為を通じて山側と消費者を結び、素材の面白さや奥深さを伝えている。伝統文化を守りつつ現代の暮らしに活かす、身近な木の利用の良質な取組である。

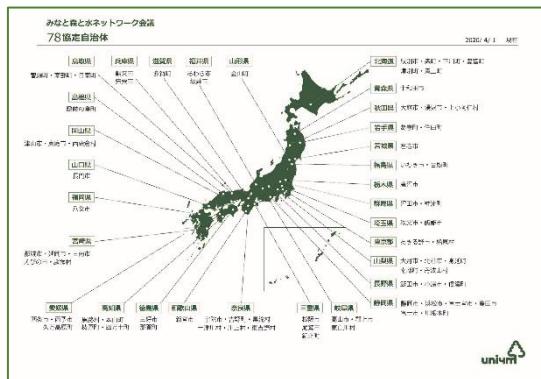
●ソーシャルデザイン部門



mother's+(マザーズプラス)
有限会社北海道種鶏農場（北海道）、株式会社竹中工務店（北海道）、藤寿産業株式会社（福島県）、物林株式会社（東京都）、協同組合オホーツクウッドピア（北海道）

建築・空間分野

地域の畜産と観光を一体化させるグリーンツーリズムというコンセプトと、木造建築が見事にマッチした質の高い作品。環境、動物、人間社会の調和というテーマを体現した道産材を使った木質空間が高い付加価値を与えている。



みなと森と水ネットワーク会議
みなと森と水ネットワーク会議（東京都）

コミュニケーション分野

都市部と林業自治体の連携による木材利用の先導的モデルとして継続性、実績ともに優れた取組である。認証制度は施行から10年目を迎えており、建築物は170件を超える成果をあげている。人的交流や木材利用のスキルアップ、消費者の理解醸成など、都市部における木材利用のさらなる成果を期待する。



世界的に価値の高いクラフトジンの商品化を通じた里山との関係構築
～ネズミサシの活用と持続的な育成～

中国醸造株式会社（広島県）、田口生産森林組合（広島県）、賀茂地方森林組合（広島県）、有限会社一場木工所（広島県）、広島県立総合技術研究所 林業技術センター（広島県）

コミュニケーション分野

地域の木と嗜好品の間新たな接点を拓いた点、国産を使ってその質を高めた点は重要である。住民、森林組合や林業技術センターと連携しながらネズミサシの産地形成を進めており、森の経済的価値向上と保全につなげている。



古民家・古木サーキュラーエコノミー
株式会社山翠舎（長野県）

コミュニケーション分野

古木の所有側、活用側のマッチングを促進するビジネスモデルであるが、古木の持つストーリー性や希少性を活かしたアップサイクル型となってい。メディアや物販といった生活者とのコミュニケーションにも注力している。



2x4工法 床構面開発事業
ウイング株式会社（東京都）

技術・研究分野

床や壁の構成部材の大断面化によって国産大径材活用を進めるとともに、剛性や精度などの向上にも寄与する社会提案性の高い技術である。構造上、開口部の制約が減るため、サッシの取り付けなど空間デザインの自由度も上がる。

特別賞（木のおもてなし賞）

木のおもてなし賞は、日本の「木の文化」を活かした施設・空間や木製品、活動などで「おもてなし」の考えに優れたものを対象とするものです。



CONTEXTED（コンテクステッド）

合同会社REVeearth（神奈川県）、Office for Environment Architecture（大阪府）、Tokyo Lighting Design 合同会社（東京都）、株式会社キドビル工務店（大阪府）、関西木材工業株式会社（大阪府）、土井住宅産業株式会社（大阪府）

建築・空間分野

長屋をリノベーションした3棟それぞれにテーマがあり、日本の木の文化を活かし、うまくデザインされた空間。長屋の面影を残しつつ、洗練された内部空間はインバウンドにも受けそうだ。

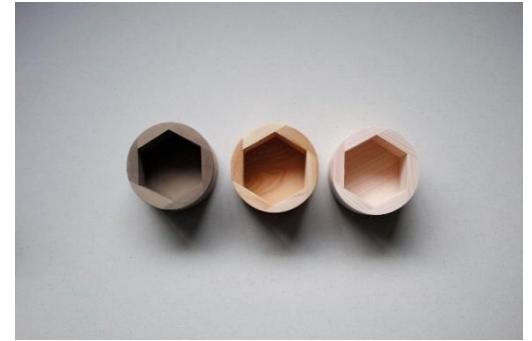


THE HIRAMATSU 京都

NTT都市開発株式会社（東京都）、株式会社日建設計大阪オフィス（大阪府）、株式会社大林組大阪本店（大阪府）、中村外二工務店（京都府）

建築・空間分野

1階の共用部は京町家らしさを残す格子や障子、小屋組みなどが美しく、機能的に用いられている。客室は木材と紙や漆喰などの自然素材に囲まれ、日本文化を感じる、木のおもてなしに満ちた空間に仕上がっている。



HEXa（ヘキサ）

GRIND ARCHITECTS（広島県）、前田基貴（広島県）

木製品分野

外周は円形、酒が入る内側は六角形のデザインは加工に高度な技術を要する。丸みがあるため持ちやすく、飲みやすい。ヒノキやホオノキ、ネズミサシといった樹種ごとの香りの味わいも趣きがあり、地元食材と合わせて楽しみたい。



ひねり髪すき/Japan

アートフォルム有限会社（秋田県）

木製品分野

絶妙な曲線のフォルムには、櫛の先が頭皮にフィットし、頭皮の肌触りの心地良さや血行促進を促すという機能が隠されている。固い素材から手作業で一本一本削りだされ、独特の味わいを醸し出している。